

第14回ラインラント州体操祭参加報告とドイツ体操クラブの事例研究 ー地域スポーツ論確立への試みー

長瀬整司¹⁾

Ein Bericht über die Teilnahme zum 14. Rheinischen Landesturnfest und
Einblicke in die organisatorischen Hintergründe eines solchen Sportereignisses
Ein Versuch der theoretischen Aufstellung über die
Sportaktivitäten in Gemeinden

Seiji NAGASE

Einleitung

Turnfeste haben in Deutschland eine lange Tradition mit Ursprung in der Turnbewegung 19. Jahrhunderts. Neben dieser bedeutenden Großveranstaltung des deutschen Turnbundes (DTB) veranstalteten in den einzelnen Landesturnverbänden.

Während des 2. Weltkrieges ruhte der Turnbetrieb. Erst in den Nachkriegsjahren, während der Zeit von Unordnung und Wiederaufbau der einzelnen Bundesländer Deutschlands, wurden in Zusammenarbeit zwischen Landesregierungen und Landesturnbünden wieder Turnfeste geplant und durchgeführt. Sie dienten der Erholung, Solidarität, Integration, Gesundheit, Kommunikation der Bevölkerung und vorallem der Erziehung der Jugend.

Das 14. Rheinische Landesturnfest fand über 4 Tage vom 10. bis zum 13. Juni 2004 in der deutschen Stadt Remscheid (Bundesland Nordrhein-Westfalen) statt. Dort versammelten sich über 8000 Turner und Turnerinnen aus den Städten und Gemeinden des Rheinlandes und nahmen an den vielfältigen Turnübungen, Wettkämpfen, Vorführungen, Lehrveranstaltungen, sowie der Eröffnungs- und Schlussfeier teil. Ein Höhepunkt dieses Turnfestes war die Turngala mit der Teilnahme von internationalen Spitzensportlern und Artisten. Unter den Mitwirkenden waren auch Kunstturnerinnen der deutschen Nationalmannschaft, die wenigen Wochen später an den 28. Olympischen Spielen in Athen teilnahmen.

Über internationale Kontakte und Jugendaustauschprogrammen waren auch Sportler aus Russland, Usbekistan, England, Dänemark und drei Turner aus Japan mit dabei.

Die Turngala wurde als internationale Sport- und Turnveranstaltung von der Turnsportgruppe Artistic Jumpers geplant, organisiert und im Rahmen des 14. Landesturnfest in Remscheid ausgetragen.

Die Artistic Jumpers sind eine Abteilung im Remscheider Turnverein (gegründet 1861).

Am Beispiel des Remscheider Turnvereins 1861(RTV 1861 korp.) erscheint es von besonderem Interesse über die Aktivitäten eines deutschen Traditionsvereins zu berichten

1) 生涯スポーツ学科

und die Organisation zu betrachten, um die gegenwärtige Situation und zukünftige Entwicklungsmöglichkeiten eines Turnvereins in Deutschland zu studieren.

Key words : Turnfest, DTB(Deutscher Turner-Bund), RTB(Rheinischer Turner-Bund), Turngala, RTV1861 korp. (Remscheider Turner-Verein 1861 korp.)

はじめに

ドイツ体操連盟,DTB(Deutscher Turner-bund)が5年周期で開催している伝統的なドイツ体操祭は,19世紀のドイツ体操ムーブメント(Deutsche Turnbewegung)の激動下で起源した。⁽¹⁾

ドイツ民族の祭典である体操祭は,第二次大戦中休止する時期もあったが,各州体操連盟,LTB(Landes Turner Bund)が戦後の混乱と復興期に地方住民の慰安,連帯,融和,コミュニケーション,健康増進と青少年育成を基本方針に掲げ,地方行政との共催で州体操祭を復活させた。現在は20の州体操連盟が伝統スポーツ行事として,各州の都市が持ち回り,4年周期で開催している。

第14回ラインラント州体操祭(Das 14. Rheinische Landesturnfest)は,2004年6月10日から13日までの4日間,レムシャイド市(Stadt Remscheid)において挙行された。

この大会にはライン河周辺の市町村から老若男女8千人が集った。イベントとして開・閉会式を始め,各種競技会,演技発表会と指導講習会が並行して企画運営された。

この多種多様なプログラムの中で最も注目されたのは,体操祭祝祭公演(Turnfest Gala)である。このイベントの企画を担当した主催者は,青少年交流と国際スポーツ交流を育みながら,体操の普遍性と可能性そして完成された演技発表を,斬新的な演出とのジョイントで成功させた。

体操祭祝祭公演には,ロシア,ウズベキスタン,英国,デンマークそして日本から三名の選手を含む,国際レベルの各種競技選手や

アーティスト,さらに第28回アテネオリンピック大会を2ヶ月後に控えたドイツ代表の体操選手たちが招待され,次々に見事な演技を披露した。

ここでは,ラインラント体操祭の大会報告に併せて,体操祭祝祭公演を主催したレムシャイド市の地域スポーツクラブ,RTV体操クラブ(Remscheider Turnverein 1861 Korp.)を事例に,伝統的体操クラブの組織と活動の分析を試み,その現状と将来的展望を考察する。

. DTB とRTBの現状

.1 . ドイツ体操連盟(DTB)の現状

現在ドイツ体操連盟「Deutscher Turnerbund」(DTB)には,20の州体操連盟「Landes Turnerbund」(LTB)が加盟する。

DTB登録会員総数は,5,074,011人,登録クラブ数20,192クラブであり,ドイツサッカー連盟「Deutscher Fußball Bund」(DFB)に次ぐ,巨大スポーツ組織団体である。⁽²⁾

一方のDFBには,会員620万人とクラブ20,101が登録することから,DTBとDFBの二大スポーツ組織団体が,ドイツスポーツ総人口(2千6百万人)のほぼ半数を占めることになる。⁽³⁾

統計資料(表1.と2.)は,02と03年のDTB所属の州別体操連盟会員数の動向を示し,その比較から次の考察ができる。

1)旧西ドイツと旧東ドイツ地域「印」のDTB加盟州体操連盟間の登録会員数較差は極めて大きく,1990年東西ドイツ統一(1990年)から12年が経過した現時点におき,旧東ドイツ地域における州体操連盟の

表１．DTB州別体操連盟登録会員数

DTB加盟州体操連盟	2002年	2003年
バーデン州	433,437	437,224
バイエルン州	908,494	908,388
ベルリン市	67,704	67,964
ブランデンブルク州	16,308	19,529
ブレーメン市	33,672	32,907
ハンブルク市	109,935	127,681
ヘッセン州	554,389	558,420
メッケレンブルク フォーポメルン州	15,620	18,496
ミッテルライン州	135,779	136,950
ニーダーザクセン州	741,779	746,882
ファルツ州	104,966	109,414
ラインヘッセン州	73,364	74,033
ラインラント州	372,546	369,052
ザールラント州	80,918	80,156
ザクセン - アンハルト州	34,683	34,915
ザクセン州	63,683	63,534
シュセルピック ホルスタイン州	217,792	215,714
シュヴァーベン州	654,339	664,366
チューリンゲン州	39,670	39,467
ヴェストファーレン州	366,440	368,846
DTB会員総数	5,025,672	5,074,011

(印は旧東ドイツ)

体操クラブ開発に顕著な進展はない。

- 2) 旧西ドイツ地域においては、会員減少傾向の状況にある州連盟が観察できるが、その最大の原因は少子高齢化の影響である。
- 3) 世代・性別会員構成においては、総ての世代で女性が男性を上回っており、特に成人世代においてその差は著しい。その要因として、まずDTBが健康志向プログラムに主眼を置いた種目構成をしてきたことから、女性に人気が高いことである。また、女性の高い定着率と平均余命が成人会員の増加に繋がっていると考察できる。
- 4) それに対し男性プログラムは、サッカー人気に代表されるように、球技志向のスポーツ行動に押される形でプログラム整備が遅れた結果、特に成人会員の減少傾向は顕著である。

表２．DTB登録会員世代・性別構成

	2002年	2003年
児童男子	645,860	654,087
児童女子	1,041,055	1,050,796
中高生男子	81,337	82,764
中高生女子	185,346	185,907
成人男子	770,372	339,286
成人女子	2,301,702	2,321,171
総合男子	1,497,569	1,516,137
総合女子	3,528,103	3,557,874

2. ラインラント体操連盟(RTB)の概要

RTBの拠点となるノルトライン地方は、文字通りライン河周辺北部の市町村を指し、その主要都市としてボン市、ケルン市、レヴァクゼン市、デュッセルドルフ市などが存在する、ドイツの政治、経済、産業、商業、交通、学術、スポーツ、文化の中心的エリアである。

ラインラント州体操連盟は、1948年その前身であるノルトライン・ヴェストファーレン(NRW)州体操連盟から分離独立し設立された。その翌年の1949年、ラインラント州体操会議は、初代RTB会長にカール・ディーム博士(Dr. Carl Diem)を推挙した(第 章、第4節参照)。

終戦直後、地方都市は壊滅的な状況にあり、NRWの広大な地理的条件と遅れたインフラ整備に考慮すれば、組織を二分割して運営することは両連盟が早期復旧を促進する、合理的かつ妥当な判断であった。

両体操連盟の管轄地域を旧西ドイツ体操連盟(DTB)加盟・州体操連盟分布図により示す。

図1. に表示されているNo.11は、ラインラント州体操連盟、No.15は、ウェストファーレン州体操連盟の管轄となる。(図1. 参照)

3. ラインラント州体操連盟(RTB)の現状

現在RTBには、121スポーツクラブが登録

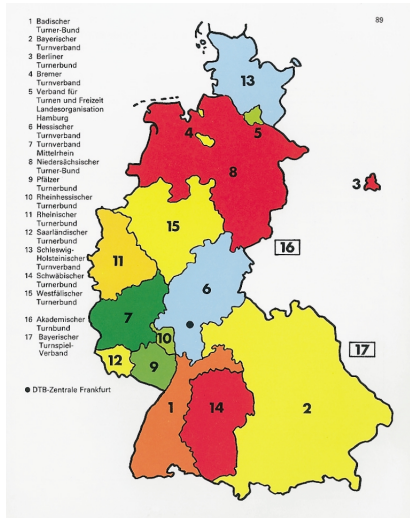


図1. DTB加盟州体操連盟分布図

しており、その会員数は369,052人である。

RTB新規登録会員数と新規登録クラブ数の推移は、以下の表により示す。(表3・4・5・6.) (2004 Deutscher Turner-Bund

DTB)

これらの統計は、RTBは76年から93年までの17年間に、会員1万人と20クラブの増加があったことを示している。しかし、94年以降04年までの11年間を見る限り、新規登録会員数と退会者数の差は僅か1500人の増加に止まっていることから、以下の概説ができる。

- 1) 70/80年代当時、ゴールデンプラン政策を中心に「第二の道」(Der zweite Weg)キャンペーン運動が活発に展開され、国民にスポーツクラブ入会を積極的に奨励しスポーツの大衆化を目指した結果、地域スポーツクラブに入会する市民が急増した。
- 2) ドイツ連邦議会は、西暦2001年に合わせベルリン遷都を決定した。その結果、特に行政官公庁とその関連企業に就く従事者と家族は、旧西ドイツ暫定首都・ボン市と周辺都市から撤退し、新首都ベルリン周辺に移転した。その影響により、90年代以降の

表3. 年別RTB新規登録会員数

年	会員数
1976	29057
1986	33560
1990	38851
1993	39694
1996	39114
1999	40727
2000	39377
2001	40270
2002	40852
2003	40592
2004	41194

表4. RTB体操連盟登録会員総数の推移

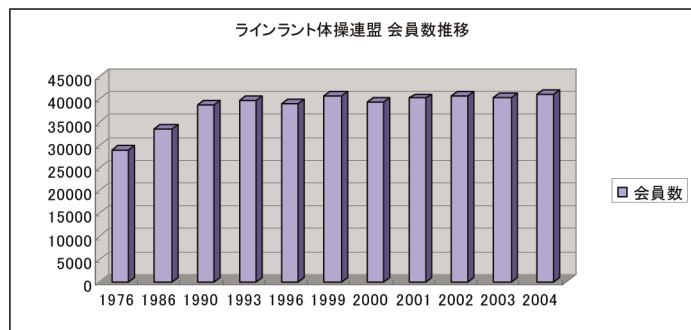
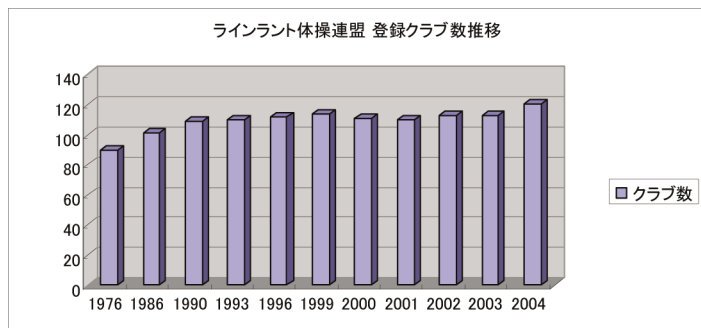


表5. RTB年代別クラブ登録数

年	クラブ数
1976	90
1986	101
1990	109
1993	110
1996	112
1999	114
2000	111
2001	110
2002	113
2003	113
2004	121

表6. RTB登録クラブ総数の推移



RTB会員数は減少傾向に転じた。

.4 . RTB初代会長C .ディームの功績と第1回ラインラント州体操祭

終戦後、1947年11月3日の第1回ドイツ連邦会議でドイツの首都ベルリンは、暫定首都ボン市への移転が決議された。その結果、ラインラント地方は旧西ドイツ連邦共和国の首都所在地域として、政治、経済、産業、学術、文化、芸術とスポーツの動向に国内外から一躍注目を浴びることになった。

1949年、RTB議会は、初代会長にスポーツ歴史科学者であり、連邦スポーツ行政と組織、また教育界に絶大な信頼がある、カール・ディーム博士（Dr. Carl Diem）を推挙した。

C .ディームは、ドイツオリンピック委員会メンバーを務め、1947年ドイツ・ケルンスポーツ大学を設立するなど、戦前、戦後のオリンピック思想の啓蒙と近代スポーツの発展に多くの功績を残した。また、国際オリンピック委員会（IOC）は1956年ディームにオリンピック功労賞を授与した⁽⁴⁾

「近代体育の父」と呼称され、国際スポーツ界と連邦政府そして国家スポーツ行政に精通したディームが 初代会長に就任したことから、RTBは一躍国内外から認知されるスポーツ組織となった。

ディームの提案により第1回ラインラント州体操祭が、ドイツが16年振りにオリンピックに復帰する、1952年のオリンピックイヤー（第15回ヘルシンキ大会）に合わせて開催されたことは、極めて意義深く注目に値する。

. 第14回ラインラント州体操祭の報告

今大会は、レムシャイド市において2004年6月10日～13日までの4日間、8000人の参加者を集め、同市の学校スポーツ施設と公共スポーツ施設を舞台に、各種体操競技と演技発表が行われた。その中から、関心のある項目を選び報告する。

.1 . 第14回ラインラント州体操祭実施競技種目

表7は、今大会で実施された競技種目を示す。

これらの競技種目の観察から、ドイツの体操概念には一般的な体操に加え古典的、民族的そしてニュースポーツ的競技種目が混在する特徴が分かる。その中でも、ドイツ独特の体操競技種目であるヤーン九種競技とフリーゼン競技については、別途解説する。

.1 .1 . ヤーン九種競技

ヤーン九種競技は、ドイツ体操の創始者であり、体操の父と呼称されるヤーン（F.L. Jahn）への敬意を表し、体操家の万能性を追及する意味を込めて1950年に考案された。

その内容は、水泳、陸上、体操種目からそれぞれ3種目を選出し、合計9種目で競う複合競技である。

表7 . 第14回ラインラント州体操祭実施競技種目

○競技スポーツ種目
・エアロビック競技
・アクロバット体操競技
・ファウストボール（バレーボール大のボールを使用し、ネットを挟み握りこぶし（Faust）でボールを打ち合うゲーム）
・インディアカ
・コープボール（コートはほぼバスケットボールの広さ、スタンド式のバスケットを設置してプレーするゲーム）
・陸上競技（トラック&フィールド種目）
・オリエンテーリング競技
・ハンドボール
・ローン体操競技
・新体操競技
・トランポリン体操競技
・リングテニス（バトミントンコートの広さ、ゴム製リングを使用してテニスの要領でプレーするゲーム、シングルスとダブルスがある）
・ダブルダッチング競技
・体操競技（男子6種目、女子4種目）
・水泳競技（競泳、飛び込み種目）
・ドッジボール
・バレーボール
・ヤーン九種競技
・フリーゼン競技

表8．ヤーン九種競技

- 水泳；100mクロール，または平泳ぎ
25m潜水泳法タイムトライアル
飛び板飛び込み 1 m，または 3 m， 2 カテゴリーから 2 種目
- 陸上；100m競走
砲丸投げ
走り幅跳び
- 体操；床運動
平行棒
跳馬

1.2．フリーゼン競技

この競技は，体操家フリーゼン（K.-F. Friesen）に因み命名され，部分的に近代五種競技と共通する複合競技である。

フリーゼンは，フェンシングの名人で，水泳，体操と乗馬にも優れた万能スポーツマンであり，ヤーンの良きアドバイザーであった。彼の体操の発展に対する功績を称え，1928年のドイツ体操祭からフリーゼン競技の名称で実施されている。

この種目は，フェンシング連盟と体操連盟の融合により考案された競技である。

表9．フリーゼン競技

- 射撃；10m先の標的にハンドフリーで10発発射しその射的精度を競う。
- 砲丸投げ；重量 3 kgから7.35kgの砲丸を年齢と性別に合わせ投擲し，瞬発力を競う。
- 持久走と短距離走；1000m（男子），50mまたは100m（女子），持久力と瞬発力を競う。
- 水泳；50mまたは100m，平泳ぎまたはフリースタイル，選択制の競技種目
- フェンシング；フルーレ（男子），エペ（女子），3 ポイントマッチ制で戦う競技

2．大会の模様からの報告

第14回ラインラント体操祭は，04年6月10日，レムシャイド市庁舎前広場，テオドル・ホイス・プラザ（Theodor-Heuss-Platz）に多数の体操祭参加者と市民が集い，多彩なアトラクションが繰り広げられる中，F．シュルツ市長の開会宣言で4日間の大会はスタートした。

平素は人口11万人の平穏な都市に一気に8千人のラインラント地方の体操愛好家が集結したことで，市内中心部は活気付き，賑やかな雰囲気にも包まれる4日間となった。



写真1．市庁舎前広場の開会式のアトラクション（Rheinische Post）

市内のコミュニティー広場，ショッピングセンターの通路などに企画された，エアロビ体験，スポーツ能力診断，体力チャレンジ，癒しとヨガ体操，高齢者向け健康体操などの紹介とサービスコーナーは，大会のアピールに加え，参加者と市民との融和を高める効果があった。

3．参加者の宿泊に関する報告

体操祭期間中，参加する青少年たちの宿泊施設における集団生活は，その環境と条件に適応しながら，お互いが協調性を高め，多くのスポーツ仲間と交流を深める必要性和重要性を体験的に学ぶことであり，成長期に欠かせない実践的な社会教育の場である。

また，社会生活の基本である適切で理性的な判断と行動は，身近な生活環境問題への意識を高める貴重な学習機会となる。

大会期間中，参加者の宿泊に関する要点を次に示す。

- 1）宿泊施設には，学校の教室と青少年の家などが利用された。
- 2）青少年グループには必ずリーダーが付き添い，規律と秩序を守る基本的な生活態度を身に付ける指導がされた。
- 3）参加者は，シュラフと銀マットを持参し

た。

- 4) 門限は午後9時を厳守とした。
- 5) 参加費と宿泊費(3泊と3朝食)は、一人当たり合計30ユーロ(日本円,約4千円)であった。
- 6) 宿泊と食堂の施設管理運営は、主催するレムシャイド市スポーツクラブの会員がボランティアで担当した。

・体操祭祝祭公演(Turnfest Gala)

6月12日と13日の両日、レムシャイド市のノインカンバー・スポーツホールで4回公演が挙行されトップアスリートたちは、独創的で洗練された演技を次々と披露した。一千人収容の会場は毎回超満員となり、総数五千人の入場者はその完成された見事な演出と演技に固唾を呑んで見入った。

1. 特別参加選手のプロフィール

表10は、体操祭祝祭公演に招待された全選手のプロフィールを示す。

表10. ラインラント州体操祭祝祭公演招待選手のプロフィール

・オスカナ チャウソヴィティナ(女子体操競技), 91, 01年世界選手権大会優勝, 92年バルセロナオリンピック大会優勝, 04年アテネオリンピック大会ドイツ代表。
・セルゲイ ケアコフ(男子体操競技), 88年ソウルオリンピック大会優勝・最年少金メダリスト, 93年世界選手権大会優勝, 96年アトランタオリンピック優勝
・アレクサンダー リザエフ(アクロバット競技), 「フリック・フラック」サーカス団所属
・ジュリウス ペトリ&ヤン シェーファー(ローン体操競技), ローン体操世界選手権大会7回連続優勝
・トニー メヴィウス&オリヴィエラ デ・モーラ(アクロバット競技), 「ソイレル」サーカス団所属, ドイツ選手権アクロバット競技優勝, デ・モーラ選手は、女子体操競技ブラジル, 元チャンピオン

・ドイツ女子体操競技, ナショナルチーム代表選手, 4名
・ティナ ギゼ&リュバ バリューキン(女子新体操競技), ドイツナショナルチーム代表選手, ロシア新体操代表選手
・野田光太郎&成田康二(男子新体操競技), 日本選手権大会優勝, 花園大学
・河津修一(バトントワラー), 03/04年世界選手権大会3位, びわこ成蹊スポーツ大学
・デンマーク ナショナル パフォーマンスチーム, デンマーク代表ナショナル体操チーム
・ベルリン エレファント, ベルリン体操協会ショウチーム
・アーチスティック ジャンパーズ, RTV体操クラブ代表チーム, アトランタ, シドニーオリンピック大会ドイツ代表体操プレゼンテーションチーム
・ポッホム市体操競技強化センター代表選手

2. 日本選手の参加に至る経緯

RTBは、こうしたイベントの機会に海外のスポーツ文化とトピックスを積極的に紹介しながら、スポーツの普及を図る政策を推進している。

今般、日本の3選手が招待された背景には、筆者がケルンスポーツ大学卒業後、RTV体操部コーチとして8年間(1970~78)選手育成指導を担当した経緯がある。

当時、筆者の体操競技選手育成グループに所属していた14歳と6歳の体操を愛する2少年、J. パイツ氏(写真左)とH. マイナート氏(写真右)は、現在、RTV幹部として活躍している。この二氏と筆者は、今日まで交流を継続しながら、厚い友情を育んできた。

パイツ氏とマイナート氏は、長年、RTV所属アーチスティック・ジャンパーズの監督とコーチを務め、ドイツを代表するチームの指導者として、オリンピック大会など多くの国際舞台を経験してきた。

この二氏から日本のスポーツトピックスの紹介依頼があり、筆者は新体操に共通する競技性のあるバトントワリングと男子新体操を



写真2. J. バイツ氏とH. マイナート氏

推薦した。それにより、びわこ成蹊スポーツ大学2年生、バトントワラーの河津修一と花園大学男子新体操競技選手、野田光太郎と成田康二が、ラインラント体操祭祝祭公演の招待選手として参加することになった。

.3. 体操祭祝祭公演プログラム

多彩な体操祭祝祭公演プログラムは、ハイテクを最大限駆使した音響と照明そして大型スクリーンを応用した演出と振り付けで構成された。また観客と演技者の一体感に配慮した、ライブ効果を高める会場設定は、これからの新しいスポーツイベントの演出方法である。

バイツ氏とマイナート氏を中心にRTVクラブ会員とジャンパーズのメンバー達が放課後や終業後、会場の演技フロアーと観客席を一週間掛けで設営した。また、それを支援するため特別に有給休暇を取り、各地からボランティアで参加する元メンバー達が多数いたことは、地域密着型スポーツクラブならではの注目すべき特性である。

プログラム

第一部

Déjà vu (どこかで見たことがある)

オリンピックを目指す体操少年たちを大型ス

クリーンに映し紹介

レムシャイド体操クラブ&ボッホム市体操競

技強化センター

英国少年有望選手による体操競技演技

両クラブの活動最新情報の紹介

小・中学生RTV体操チームのミニトランポ

リン演技発表

バトントワリング演技

河津 修一：びわこ成蹊スポーツ大学



写真3. 河津修一選手の演技

光と影

ローン体操競技

ジュリウス ペトリ&ヤン シェーファー

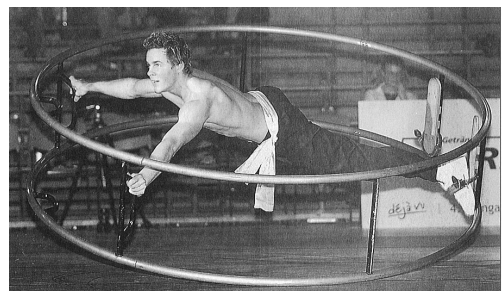


写真3. ジュリウス ペトリ選手の演技から
(Rheinische Post)

時をとめて

ベルリン エレファント

ベルリン体操協会ショウチーム



写真4．ベルリン エレファント

空中遊泳

トニー メヴィウス&オリヴィエラ デ・モーラ



写真5．空中遊泳演技の一コマ

かし

セルゲイ & サシャ ケアコフ

親子で演じるコミカルな鉄棒演技

03/04ワールドツアープログラム

創作ギムナスチック

デンマーク ナショナル パフォーマンスチーム

男女総勢50名で演じるパワフルな創作ダンス

集団体操演技

第二部

体操競技演技発表

オスカナ チャウソヴィティナ

女子体操競技ドイツ代表選手

アテネオリンピック壮行会とその演技発表

パ・ディ・デュー（世界初演）

新体操競技男女混合演技発表

ティナ ギゼ&野田光太郎

リュバ バリューキン&成田 康二



写真6．パ・ディ・デュー

脱線（コミカルショウ）

アーチスティック ジャンパーズ

RTV体操クラブとドイツを代表する体操チームによる、コミカルで創造力豊かなトラン

ポリンショウ

天才的身体

アレクサンダー リザエフ



写真7．天才的身体

デンマークパワー No.2

デンマーク ナショナル パフォーマンスチーム



写真8．デンマーク体操チームの集団演技

ファイナル
出演者全員再登場



写真9．フィナーレ全員集合



写真10．演技終了後の出演者交流から

．4．体操祭祝祭公演参加の成果

日本から出場した、世界的バトントワラー、河津修一と日本代表の男子新体操選手、野田光太郎と成田康二は、4回公演全てに精度の高い演技を披露し、総勢5千人の観衆に感動

と感銘を与えた。

州体操祭の長い歴史の中で初演となった三選手の演技は、ドイツの広域に新聞とテレビの実況放送により詳細に紹介された。

特に、日本スポーツバトン協会関連の報道の中で、当該協会には30万人の会員が登録していること、そして2004年第25回世界バトントワリング選手権大会が8月に大阪で開催されるなどのインパクトには、各方面のスポーツ関係者が強い関心を示した。

女子新体操競技は、すでにオリンピック種目として認知され国際的に普及しているのに対し、男子新体操に関する認知度は低く、普及も遅れているのが現状である。

男子新体操競技の国際化には、まず各国関係者が国際競技会の開催に向けた意見交換と協議の場を設定することを始めとし、国際統一競技規則の作成とイベントの開催などその課題は多い。

唯一、日本体操協会は男子新体操を公式競技として認定し実施していることから、国際体操連盟（FIG）は日本を模倣し、その普及を図ろうとしている状況にある。

ドイツナショナルコーチであるC・ウェーヴァ（Carmen Weber）女史が、イニシアティブを取り、世界初演となる男女混合新体操演技のコレオグラフィーを担当した。

ロシアとドイツナショナルチームの女子選手と野田、成田両選手の4名は、ポッホム市の新体操強化センターに祝典一週間前から合宿し、ウェーヴァーコーチの特訓で見事な演技「パ・ディ・デゥ」を仕上げた。

ラインラント地方に限定された大会であったが、FIG役員であり、またドイツ体操連盟副会長でもある、H-J・ツァハリアス（Hans-Jürgen Zacharias）氏がこの世界初演となる「パ・ディ・デゥ」を高い関心を持って観賞し絶賛したことは、男子新体操競技の国際化に向け、極めて意義深いプレゼンテーションとなった。

・レムシャイド体操クラブ (RTV 1861 korp.)

この章では、体操祭祝祭公演の企画運営を主導し成功させたRTVのホームグラウンドである、レムシャイド市との関係から考察を試みる。

1. レムシャイド市の概要

レムシャイド市は、ラインラント地方の北東部の山地に位置する、人口118,800人の中堅都市であり、中心的な産業は鉄工業である。特に工具の生産が盛んな都市として、その名はドイツ全国に知れ渡っている。隣接する都市には、刃物で世界的に有名なゾーリンゲン市（Solingen）と工業と学術都市・ヴッパータール市（Wuppertal）が位置する。

市の中心部には雄大な石造建築の市庁舎が高く聳え立ち、その前の広場は毎週朝市が開かれるなど、市民の憩いとコミュニケーションの場として親しまれている。



写真11. レムシャイド市庁舎

1845年、レムシャイド市の旧市街・レンネプ（Lennep）で生誕した、W.C. レントゲンは、1901年初代ノーベル物理学賞を受賞した人物として、市民が誇る著名人の代表である。

現在、レントゲンの生家は「レントゲン博物館」となり、レムシャイド市の観光名所となっている。

レムシャイド市とゾーリンゲン市を結ぶヴッパー峡谷に架かるミュンスターナー鉄橋



写真12. W.C. レントゲン



写真13. レントゲン博物館



写真14. ミュンスターナー鉄橋

Münster Bridge) は、1897年に建造された世界一高く（101m）、長く（491m）そして古い鉄橋であり、多くの観光客がその圧倒される規模と雄大な姿に感嘆の声を上げる名

所となっている。

2. レムシャイド市の人口

レムシャイド市は、1933年に人口10万人を突破して以来、1970年までは順調にその記録を更新してきた。しかし、70年代を境に年々減少傾向にあるのは、ドイツの典型的な鉄工業都市の現状といえる。

さらにヨーロッパ連合（EU）加盟国が増加する中、近年一部の旧西ドイツ地域では企

業の国外移転による、人口の減少と経済の減速などの問題が浮上している。

表13が示すように、レムシャイド市が所属するノルトライン・ヴェストファーレ州はドイツ全国の人増加率の比較においてその状況は深刻であり、市が取り組む都市行政の中でも人口問題は最重要課題となっている。

図14. が示す同市の人口構成グラフの形状は、明らかに不安定であり、将来性が見込める人口政策に市民の期待は募る。

表11. レムシャイド市の人口推移

年代	人口推移	年代	人口推移
1815	7.000	1933	101.188
1820	7.987	1939	103.915
1830	9.428	1950	103.276
1850	12.467	1961	126.892
1860	15.414	1970	136.800
1870	20.975	1975	135.000
1875	26.066	1980	129.300
1890	40.371	1985	121.500
1900	47.283	1989	120.979
1910	72.159	1997	121.200
1919	72.568	2003	118.339
1925	76.827		

表11. レムシャイド市の人口推移

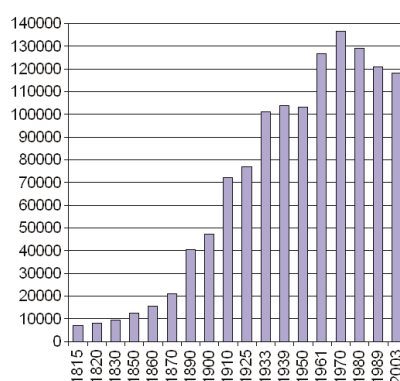


表13. ドイツ全国, 州, 地方都市の人口推移比較 1990 ~ 1998 (%)

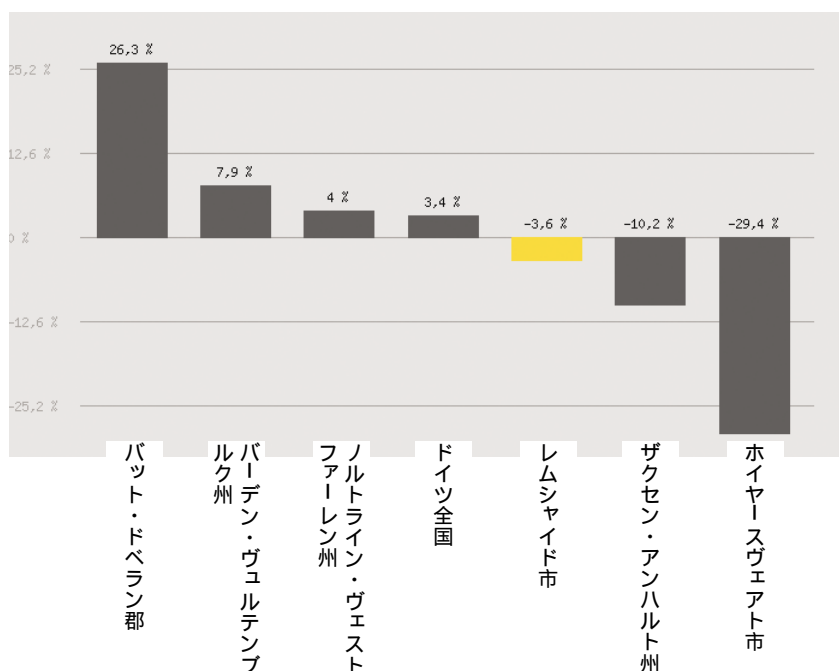
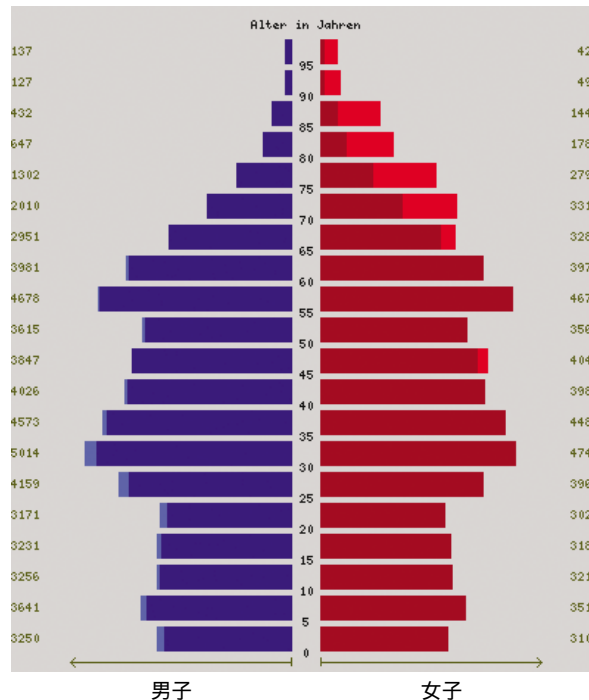


表14．レムシャイド市の年齢別人口構成（縦軸：年齢，横軸：人数）



3．レムシャイド体操クラブ1861（RTV 1861 korp.）の概要

K．クリーシュRTV事務局長には，筆者からの資料提供要請に快諾頂いたことで，ドイツを代表的する地域密着型スポーツクラブの現状を考察することが可能となった。

この都市最大で最古の創立1861年レムシャイド体操クラブ（RTV）は，日本歴史に置き換えれば，明治維新（1868）をさらに7年遡る，文久元年に創設された。

そうしたことから，RTVの知名度は高く，レムシャイド市に存在する31のスポーツクラブのリーダー格的な存在にある。

市民に開放されたRTVクラブハウスを兼ねるレストラン内には，名選手の遺品や過去のクラブの栄光を伝える盾やカップから，歴史的なスポーツ用具まで展示されている。こうしたRTVクラブの歴史と発展そしてスポーツ全般に関するインフォメーションは，訪れる地域住民の魅力的なコーナーであると同時に，集客効果を高める重要な役割を果た



写真16．クラブレストラン



写真17．クラブハウスに展示されているスポーツ用品

している。

RTV体操クラブはその長い歴史から、クラブ出身者に第一次・第二次世界大戦の戦没者が多い。クラブハウスには、その先輩たちの勇敢な死を称える慰霊碑が祀ってあることは、クラブのステータスをより一層高めている。



写真18．第一次大戦戦没者名簿

4. RTV会員数の推移から観る今後の課題

以下の統計グラフは、RTVの会員総数と男女別会員数の推移を示すものである。

01年7月の統計では会員総数2000人を超える時期もあったが、04年1月には都市人口減少の影響を受け、会員数は1800人まで減少した。

RTV女性会員数は、常に男性会員数を上回っている。この傾向に関しては前述した通り、DTB所属の体操クラブ全般に観察できる特徴であり、男性のニーズに応えるコースの開発と運用の改善が課題となっている。

表16のRTV年齢別会員構成から、次の考察ができる。

- 1) 会員の年齢幅は、1歳から90歳に及ぶ現象があるが、これはクラブの長い歴史を如実に物語る証でもある。
- 2) 会員数が最大の年齢層は、12/13歳であり、クラブ総数の9%を占める。6歳から19歳までの就学年齢世代の会員が占める割合は、ほぼ50%である。
- 3) 成人会員の中でも、特に20歳代の減少傾向が顕著であるのは、高校卒業後の進学・就職と徴兵制度などによる居住地移転の影響に因る。
- 4) 30歳代からの中高年世代までの増加傾向は、生活の安定化によるスポーツ行動と健康意識に変化が伴うものと考えられる。
- 5) 身体活動意欲の減退と罹患率と死亡率が上昇する70歳以上の会員数の減少は、自然な傾向であるが、転倒予防や健康予防体操コースなど、高齢者用プログラムの提供は、重要なヘルスケアサービスと位置づけられる。

表15．RTV会員数の推移（総数と男女別）

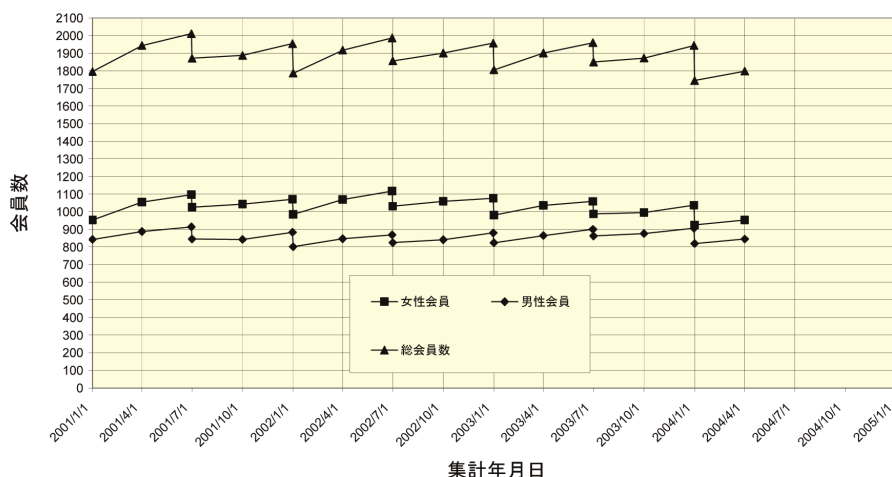


表16．年齢別会員数（2004/1/1現在）

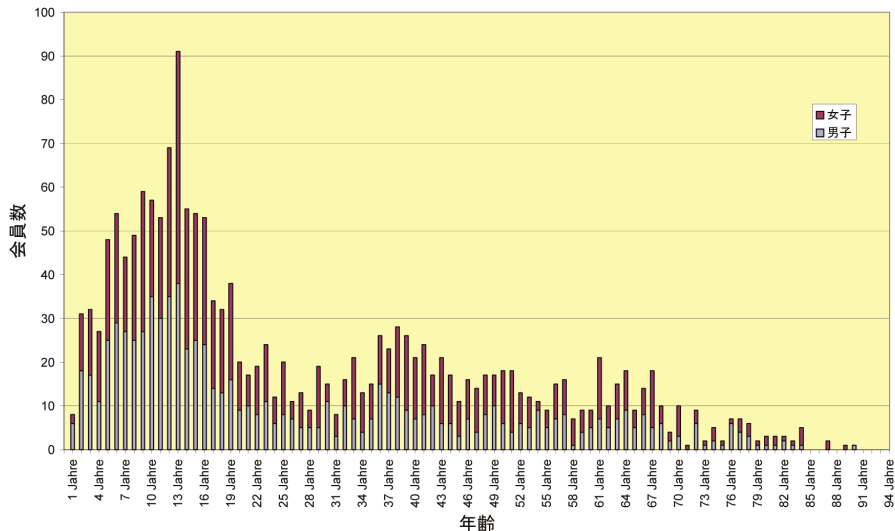


表17．クラブ在籍年数と会員数（2004/1/1現在）

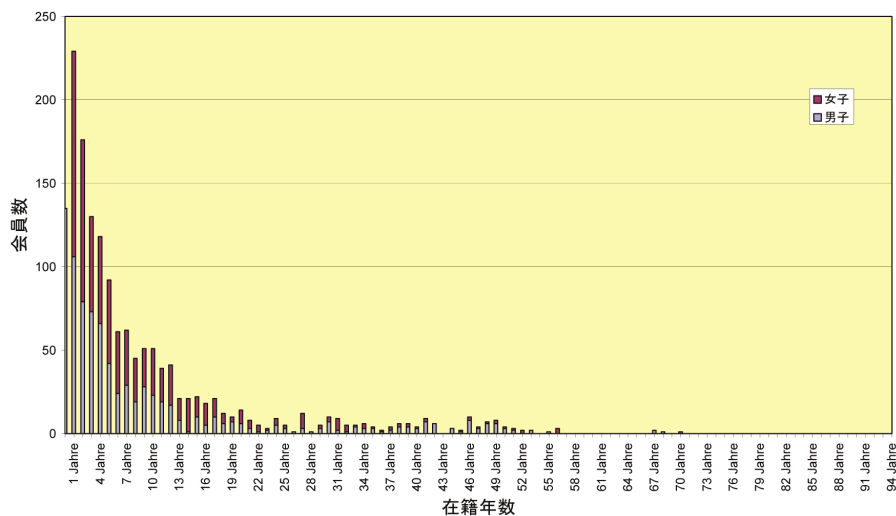


表17のクラブ在籍年数と会員数の調査では、新規会員は最低1年間の在籍が義務付けられていることから、一年目の会員数は圧倒的に多い。したがって、会員の減少傾向は、在籍5年目辺りから顕著になっている。青少年の成長期に伴うクラブ離れ現象には、指導法の工夫と競技力向上を促進し、定着の安定化を図る努力が必要であろう。

また、新スポーツ種目の開発と在籍会員の

多様化したニーズに応えながら、市場開発と定着率の向上を目指すことは、今後の重要なポイントになる。

RTVには在籍年数が50年を越す会員が存在する事実は、伝統的クラブの特徴と誇りである。こうした模範的な会員の功績は積極的に褒賞し、これらの会員の声を内外に発信することは、在籍する青少年への啓発と刺激になると同時に、新会員獲得にも有効である。

.5 . スポーツ種目と会員数

.5 .1 . RTVのスポーツ種目

会員には、次の表に示すように25スポーツ種目が提供されている。

表18 . RTVが提供するスポーツ種目

バトミントン	健康予防体操
剣道	ワンダーフォーゲル
ローラースケート競技	バレーボール
エアロビクス	(ホビー)
婦人体操	トリム体操
(ギムナスティック)	サッカーバレー
スポーツとゲーム	(健球バレー)
バレーボール(競技)	柔道
キックボクシング	陸上競技
アーチスティック・	卓球
ジャンパーズ	男子高齢者フィットネ
ハンドボール	ス
テコンドー	女子高齢者体操
水泳	女子体操競技
親子体操	フットサル

これらの種目から以下のことが観察できる。

- 1) 柔道、剣道、テコンドーとキックボクシングなどアジアの格闘技種目が目立つ。筆者が指導者としてRTVに在任した当時は、唯一フェンシング競技が盛んであったが、現存しない。

2) ローラースケート競技は、フィギュアスケートの陸上版であり、この地方では人気競技種目である。日本では馴染みはないが、世界選手権大会が開催されており、ドイツは常勝を続けている。RTVコーチのヴェーン女史は、往年の名選手として活躍された方である。

3) サッカーバレー(建球バレー)は、中国の遊び(建球)をヒントに、ドイツが開発したニュースポーツ競技であり、シングルス、ダブルスの競技種目を個人戦と団体戦で行うものである。競技内容は、バトミントンのシャトルコックに似た羽を使用し、バレーボールに近いルールでプレーする、激しいゲームである。男性に人気が高いことから、男性会員の増加に期待が寄せられている。また、この競技はドイツ全国大会に展開するブンデスリーガーが存在し、今後の国際的な普及と発展に注目する価値がある。

.5 .2 . 各スポーツ部門の会員数

以下の表17から20までに各部門の登録会員数の推移を折れ線グラフで示す。

顕著な会員増加が観察できる部門は柔道であり、03年1月から04年4月までの1年3ヶ

表19 . エアロビクス、ジャンパーズ、バトミントン、サッカーバレーボール、サッカー(フットサル)部門の会員推移

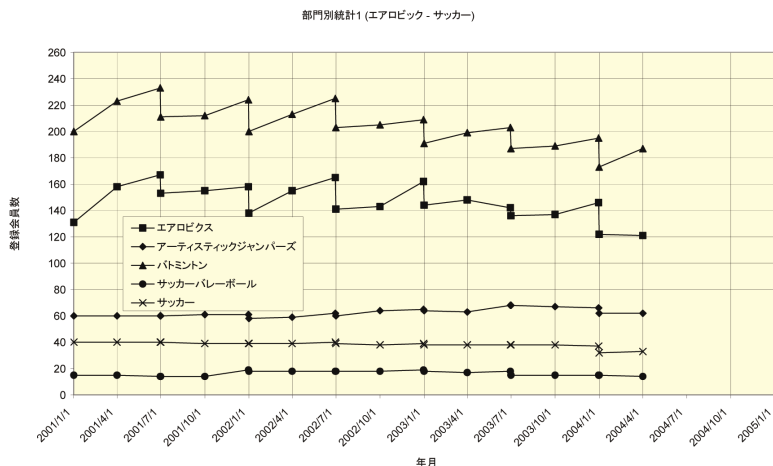


表20. ギムナスティック, 柔道, キックボクシング, ハンドボール, 剣道, 陸上部の会員推移

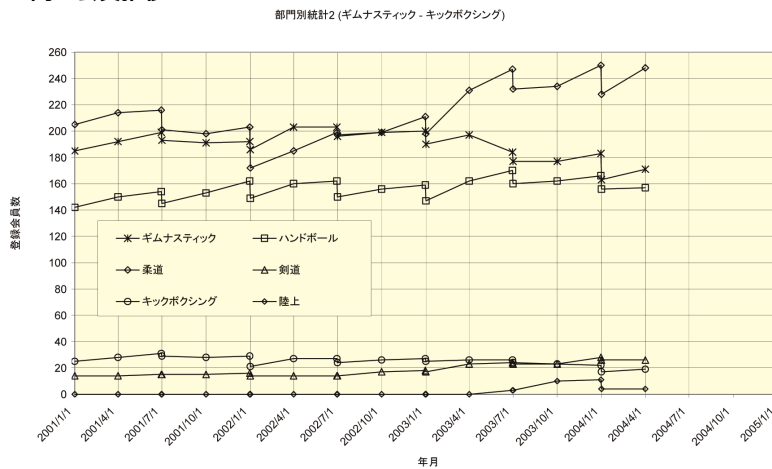


表21. 健康予防体操, ローラースケート競技, 水泳, スポーツとゲーム, テコンドー部門の会員推移

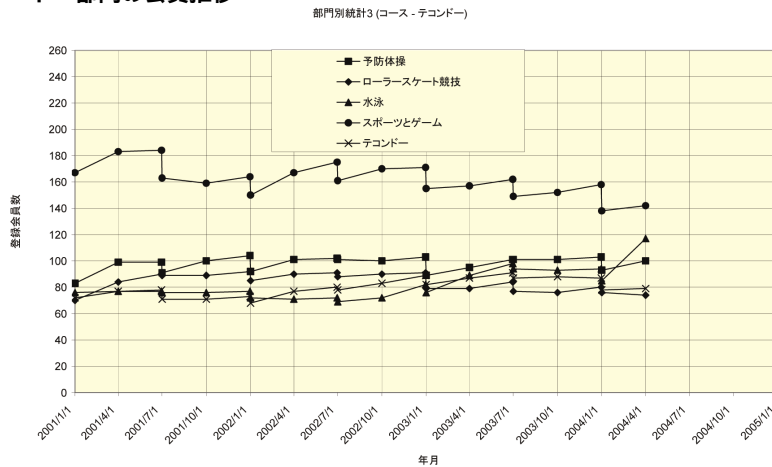
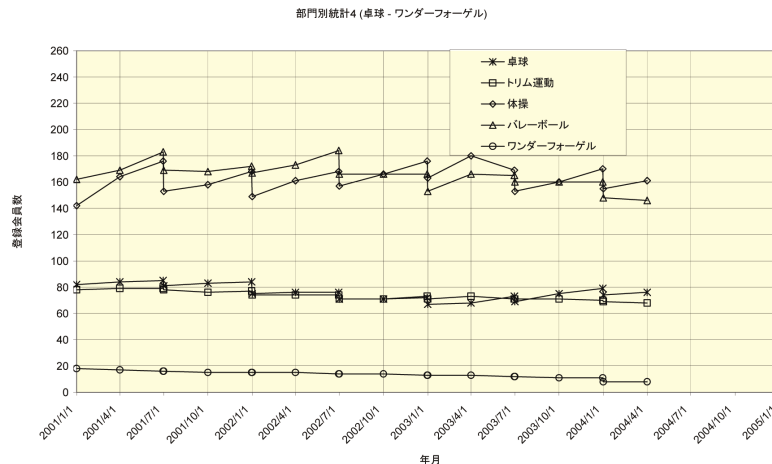


表22. 卓球, トリム体操, 体操, バレーボール, ワンダーフォーゲル部門の会員推移



月間に50人が入部している。その他の部門は一定または減少傾向にある。比較的高い減少傾向にある種目には、バドミントン、エアロビクスとスポーツ・ゲーム部門がある。

6. RTV組織の変遷

RTVは、その長い歴史の中で幾度が改組を迫られてきた。1984年2月23日以前のRTV組織構成は、以下の図に示すとおりである。

組織構成図2によるトップダウン方式の運営において、各部門間の連携プレーは十分機

能せず、また役員の物心両面に負担を及ぼしたことから、1984年失効した。

1984年2月24日に発効した、組織構成を次の図3で示す。

この新体制により各役員の負担は比較的軽減され、また各セクション間の連携プレーも活性化の方向に改善された。補佐委員とスポーツ活動指導部の設置は、指導体制の充実とクラブ運営の円滑化に決定的な効果を及ぼし、新入会員の増加を促した。

この経済的相乗効果は、長年の懸案であったクラブハウスとレストランそして体育館改

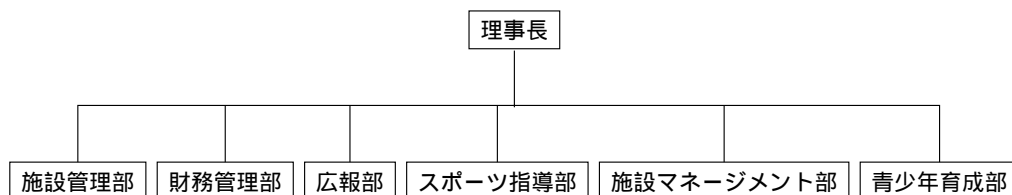


図2. 70/80年代のRTV組織図

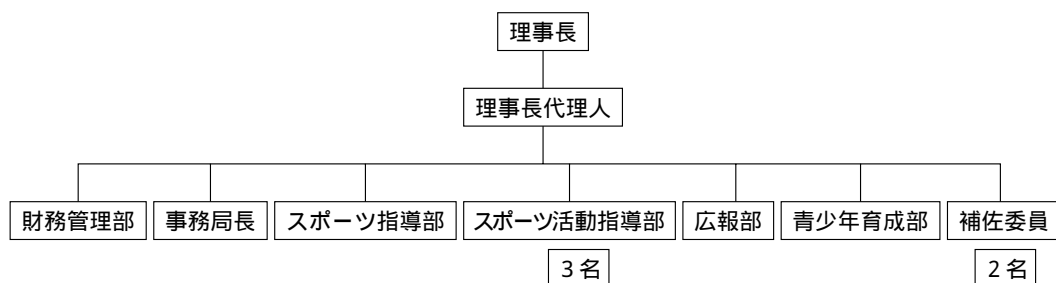


図3. 84年から03年までのRTV組織図

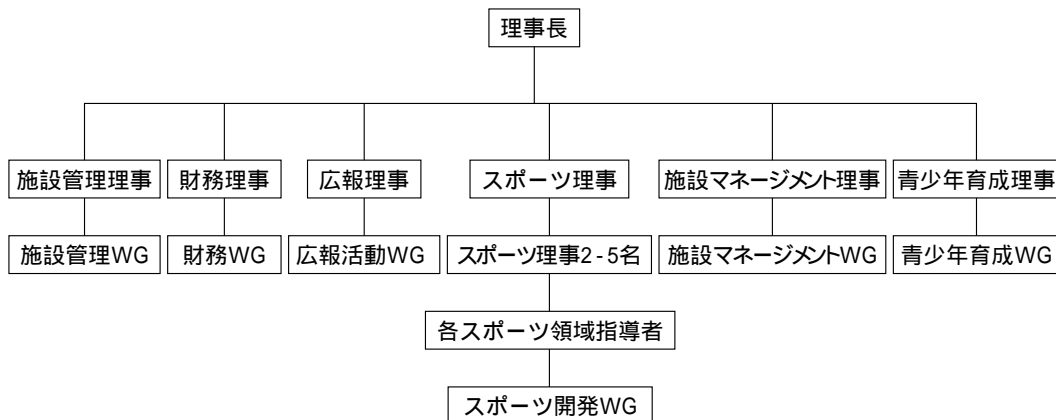


図4. RTV新組織図 (04年3月有効)

装を実現させた。また、RTVクラブ運営は促進され、会員サービスは飛躍的に向上し、安定期を迎えた。

しかし、クラブに繁栄をもたらしたこの運営方式も激変する近年の社会情勢には適応できなくなり、改組の必要性に迫られた。

役員の高齢化に加え、市場経済と雇用情勢などの社会変化が多様化する中で、役員候補者は減少し、クラブ運営を継続する上で深刻な問題が及んできた。

この現状を踏まえ、RTV理事会は2003年10月3日から5日までオルペ市（Olpe）で緊急会議を開き、その3日間に及ぶ隔絶会議にRTVの将来に命運をかけ協議を重ねた結果、新組織案（図3）が作成され、総会で採択された。

この改正案の特徴は、従来の組織構成にワーキンググループ（WG）方式を追加したことである。この新方式では、それぞれの業務決定権をWGに委託し、また業務期間を短縮することは、クラブ会員の参加協力が受けやすくなった。

元来、クラブへの愛着は強く運営にも高い関心と豊富なアイデアを持つ会員は多い。この改組により有能な人材獲得への期待は向上し、また複数のWG作業班が同時に活動することは、迅速で質の高いクラブ運営と展開が可能となる。（添付資料RTVクラブ規約参照）

7. 各種理事会の業務内容

各種理事会とワーキンググループの基本的な業務内容は、筆者が翻訳したものを文末に参考資料として添付する。（62ページ参照）

8. スポーツ施設

RTV施設は外見的に歴史を偲ばせる古い建造物であるが、クラブハウスとレストランそして2棟の体育館を所有する。

RTV施設内には用務員住居が構えてあり、常住する用務員は施設管理と防犯対策を厳格

に遂行している。また、用務員は体育館運用の調整役を兼任し、常に安全で快適なクラブ活動が保障されていることは、特筆に価する。

施設の構造は、

- 1）クラブハウス棟（レストラン、厨房、事務室、会議室、資料室）
 - 2）スポーツ施設（多目的体育館2棟、ローラースケート専用ホール、トレーニングルーム、男女更衣室、シャワー室、大型・小型器具庫）
 - 3）用務員住居
- となっている。

ドイツの施設運用の特色は、学校スポーツと地域スポーツ施設の相互扶助を大前提とし、両者の活動が合理的且つ円滑に実施されてきた。

こうしたことから、体育館施設はクラブ活動がない午前中は近隣の学校スポーツに、他方学校スポーツ施設が放課後は地域のスポーツクラブに開放されている。

このような学校と地域スポーツクラブの密接な関係は、生徒たちに地域スポーツクラブへの入会を慣習化させている。

9. RTV規約

RTVの規約は、参考資料（筆者翻訳）として文末に添付する。（62～65ページ参照）

ドイツ体操

RTV 体操クラブに代表されるように、ドイツ体操ムーブメントが活発であった19世紀に設立された体操クラブが多い。この章では、ドイツ体操の起源と経緯を概略的に解説することは、ドイツ体操クラブの全体像を観察するために肝要であると考えた。

1. ドイツ体操の起源

19世紀初頭に始まったナポレオンのプロイセン侵攻に端を発し、ドイツ哲学者、J・G・フィヒテ（1762～1814）が1807/08ベルリン・フンボルト大学公開講義において「ド

「ドイツ国民に告ぐ」(Reden an die deutschen Nation)を講演した。その中でフィヒテは、ナポレオンの「肉体的暴力」に対抗できるのは、ドイツ国民の「精神」のみであり、「毅然と立ち向かわなければならない」(aufrecht stehen)、とドイツ国民に蜂起を呼びかけた。⁽⁵⁾

フィヒテの説く「ドイツ精神」の啓蒙思想に呼応するようにF・L・ヤーン(1778～1852)は、ナポレオン侵攻からプロイセンを防衛する策として、「ドイツ体操術」(Deutsche Turnkunst)を考案した。

ヤーンは、その教育理念を4つのFで始まる言葉、Frisch, Fromm, Fröhlich, Frei(爽やかに、素直に、明るく、伸び伸びと)に集約し、青少年達に直接体操を指導した。

彼のカリスマ性から「体操の父」と呼称されたヤーンは、1811年体操術を実践する施設としてベルリンの南西にあるハーゼンハイデの森に、体操場(Turnplatz)を開設した。そこで繰り広げられる「ドイツ体操術」は、各地から詣でる学生連合(Burschenschaft)の熱血漢達に伝わり、「火に油を注ぐ勢い」の如く、瞬く間にドイツ各地に広まった。

1813年、プロイセン軍はライプツヒの解放戦争においてナポレオン軍に勝利した。その特別功労式典にルッツオーヴァー義勇軍(Das Luetzower Freikorps)が、ヤーンと学生連合の体操家と共に招かれ英雄的な扱いを受けたことで、1815年には義勇軍の7名の学生が「栄光と自由と祖国」を合言葉にイエナ学生連合を結成した。

イエナ学生連合は、解放戦争勝利の歡喜に沸く中、ドイツ精神の自覚を促す合言葉として、「青年たち自覚せよ、歡喜においても常に人生の厳しさを！」と唱え、着用していた黒と赤のユニフォームとその上着につけた金ボタンの「黒、赤、黄金」を象徴カラーとして旗に掲げた。これが、現在に伝わるドイツ国旗の起源とされる。

この故事が示すように、ヤーン式体操はナ

ポレオン支配下からプロイセン領解放戦争の勝利に沸く19世紀初頭、国民の強い支持を受けて発展し、広くドイツ社会に認知されていた。

.2 . 体操禁止令 (Turnsperre)

シレジア戦争の敗戦により、プロイセンに敵意を持つオーストリアは、ヤーン式体操が革命的な政治運動を扇動する学生連合の精神的な後ろ盾となる危険性を指摘し、1815年ウィーン会議後、それを弾圧した。

1819年、体操運動を批判する、フランスの詩人で外交官であった、A.v. コツツェビュー(August von Kotzebue)がヤーンの信奉者により殺害されたことで、ヤーンはこの事件の首謀者として逮捕され、投獄された。

1820年1月20日、プロイセン王家は体操家の革命運動を糾弾し、体操禁止令(Turnsperre)を発令した。

.3 . ドイツ体操祭 (Deutsches Turnfest) と展望

1841年、プロイセン皇帝F・ウィルヘルム4世により公式に体操禁止令が解かれるまでの21年間、体操家達は、屋外で行われていた体操を秘かに屋内に移し活動を続けた。

体操禁止令解除は、地下活動から開放された各地の体操家達の結束と団結を強めることになる。この現象は、970名の熱狂的な学生連合の体操愛好家達に波状的に広がり、1860年コーブルク(Coburg)でドイツ体操家連盟(Deutsche Turnerschaft)の設立を目的とした決起集会にまでエスカレートした。この集会では体操活動はなく弁論会に終始するが、これが第一回ドイツ体操祭の起源となった。その後ドイツ体操祭は、民族意識を強めながら展開していくことになる。

1933年1月30日にヒトラーが首相に就任し、彼が威厳誇示に利用した第17回シュトゥットガルト体操祭には、空前の60万人の体操家が参加した。

第二次大戦後のドイツ体操祭は、5年周期で開催されことになるが、これまでの民族主義への反動と反省から極端に衰退し、1948年第19回フランクフルト大会には僅か3万人の参加に止まった。

1950年に旧ドイツ体操連盟DT (Deutsche Turnerschaft) から決別し、ドイツ体操連盟 (DTB) が新生した。

DTBは、民族意識が強いドイツ体操のイメージを払拭することを優先課題に掲げ、ドイツスポーツ連盟 (DSB) と協調政策を打ち立てた。その政策の柱には、まずDTBの最大イベントである体操祭をインターナショナル・ドイツ体操祭 (Internationales Deutsches Turnfest) と改称し、伝統的な身体活動を大衆スポーツに転化することにより、国民の認知と関心を拡大する路線を歩むこととした。

こうしてドイツ体操祭は、1963年第22回エッセン大会に4万人、1968年第23回ベルリン大会に6万7千人、1983年第26回フランクフルト大会に6万5千人、そして2002年第31回ライプツヒ体操祭には10万人が参加する、近代的な国際スポーツイベントとして復活した。

本来、第32回ベルリン国際ドイツ体操祭は、2007年が開催年であるが、2年繰り上げ2005年5月14日から20日まで举行される。その構想は、2001年ベルリン遷都の記念行事と、2006年サッカー・ワールドカップ・ドイツ大会プレイベントを兼ねることになる。

21世紀がスタートしたばかりの局面におけるドイツ体操とサッカーの二大スポーツイベントは、新しいスポーツ価値観の創造に強烈なインパクトを与えると期待される。

おわりに

今般、本学が開学したばかりの重要な時期に、長期遠征に深いご理解とご支援を戴いた森昭三学長始め、関係各位に心から感謝申し上げます。

花園大学新体操部部长、松久ミユキ教授の選手派遣に対するご高配にも、併せて謝意を申し述べたい。

三名の選手は、ドイツの州体操祭という申し分のない国際スポーツイベントの舞台において、長年厳しい練習で培ったそれぞれのパフォーマンスを存分に表現し、多くの人々に大きな感動を与えてくれた。同時に、青少年国際スポーツ交流の場におき、各国から参加した多くのアスリート達と終始和やかに交歓したことは、まさにスポーツ親善大使としての役割を立派に果たしたことになる。この貴重な体験をこれからの競技活動と人生の中に活かし、更に飛躍されることを切望したい。

本学の国際交流委員会委員の立場にある筆者としては、今般のRTVとラインラント州体操連盟そして多くの参加国関係者との友好的な交流が、本学のスポーツと学術交流そして交換留学など将来的な国際交流事業に発展することを願う。

RTVの会員であり、ドイツ水泳連盟ナショナルチームまたアーチスティック・ジャンパーズチームドクターで在られるL. ウラトヴスキー博士 (Dr. Lothar Ulatowski) には、公私共に多大な支援を頂いた。特に、博士宅を三選手と筆者のホームステイ先として提供して頂き、家族同様温かく迎えられたことは、異文化への融和と相互理解を深める貴重な体験となった。謹んで謝意を表したい。

ホームステイ中には、ウラトヴスキー博士とRTV関係者を交え、地域密着型スポーツクラブの組織運営をテーマに、地域スポーツクラブの将来的展望とその可能性について意見を交換したが、まさに温故知新の心境であった。その機会に、これからの地域スポーツクラブ活動は、日独両国の共通問題である少子高齢化の現状を踏まえ、これまでの量 (quantity) から質 (quality) にシフトしながらコンセプトを創造し確立すべきであるとの共通理解と貴重な示唆を得た。

RTV本部のK. クリーシュ事務局長には、

筆者の研究モデルスポーツクラブの指定依頼に対し、好意的な承諾を頂いた。したがって、今後共RTVとは活発な交流を継続しながら、その経過と発展を観察することは、本学の地域スポーツ論研究に有意義な効果を与えると確信する。

<参考資料>

以下、RTV運営に関する各種理事会とワーキング・グループの業務内容、およびRTV規約は、筆者が翻訳したものを参考資料として添付する。

1. 各種理事会の業務内容

A. 理事会関連業務

1. クラブ運営全般に関わる業務
2. 総合開発の企画と運営
3. 目標達成の規定
4. 規約問題の準備
5. 方針と規律の規定
6. 総合予算案の作成
7. 借入金の返済業務とその能力の確保
8. 財産管理
9. 会費制度の立案
10. 外部の法的関連業務代理
11. 内部と外部への宣伝計画
12. その他クラブ審議事項の調整
13. ボランティアの推進

B. 財務管理理事会関連業務

1. 予算編成と投資計画の準備
2. 会計業務
3. 会費関連の立案
4. 会費収入管理と督促業務
5. 決済準備業務
6. 税務関連業務
7. スポンサーとの契約調整業務
8. 会計士と税務署間との連絡業務

C. 施設マネジメント理事会関連業務

1. 不動産管理業務
2. 技術関連（電気・水道、暖房、温水、その他）施設計画と監視業務
3. 動産管理業務
4. レストランと九柱戯（ボーリング）レーンの管理

5. 経済と自然環境保護関連の現状観察
6. 付随費用の清算業務
7. クラブ施設管理人と清掃業務員関連業務
8. 施設全体の規則的点検業務

D. 広報理事会関連業務

1. クラブ新聞の作成と配布
2. メディアとの連絡育成業務
3. クラブのスポークスマン
4. イメージの保存と育成
5. 広告媒体業務
6. スポーツ関連外のイベント
7. 会員募集

E. スポーツ活動業務

1. スポーツ委員会の指導
2. スポーツプログラムの企画と運営
3. スポーツ施設利用計画
4. スポーツ指導者の起用と調整
5. スポーツ運営の調整
6. 市と学校との連絡調整
7. スポーツ領域の市場調査
8. 新コースとスポーツグループの開発と立案
9. スポーツイベントの開催と調整

2. 入会金と会費に関するRTV規約

入会金と会費に関する規約は、次の表に示す通りである。

表23. RTV会費

会費の分類	月額	年額 (半年分割払)	年額 (一括払)
1. 一名の場合	10€	120€	115€
2. 二名の場合	15€	180€	170€
3. 三名以上の場合	20€	240€	220€

第1条 入会時に限り、入会者一名に対し15ユーロを管理費として収めることを原則とする。

第2条 複数名以上の場合は、同一家計に属することを原則とする。

第3条 年額会費は、原則として半年分割前納制とし、2月15日と8月15日までに納金する。例外として、話し合いの上、特別納金制度を利用することができる。

第4条 年額割引制を希望する会員は、2月末までに全額を一括前納する。

第5条 会費を納めた会員は、すべてのスポーツコースに無制限に参加できることを基本とするが、当該コースの運営と受容人数に問題が発生しないことを条件とする。またコースに限定して、特別追加料金が必要となる場合は、理事会とコース責任者が協議の上、その料金を設定する。

第6条 理事会は、書面で会費減額または免除の要望申請が提出された場合、協議の上それを認めることができる。

第7条 クラブ所属期間は入会後1年を原則とし、退会を希望する場合は、7月30日か12月31日までに書面で通知する。

第8条 会員のコース変更はフリーであり、誰でも何時でも希望するコースに移動ができる。

第9条 会費の納入方法は、期限厳守と経費削減の合理性から、金融機関の口座振込みを原則とする。

3. RTVクラブ規約

1) 一般事項

第1条 名称と所在地

1861年6月16日付で、“レムシャイド体操クラブ1861 (korp.)” RTVの名称でレムシャイド市に体操クラブの所在を認める。

註.(korp.)の由来は、Korporationの略語で組合、または団体を意味するが、1894年2月26日、当時のプロイセン皇帝、ウィルヘルム二世からその称号と権利を授けられた。現在は、法人登録クラブ(eingetragener Verein)、を略してe.Vと記されているが、両者間にはステータス的に歴然とした差異がある。

第2条 クラブの目的

第1項 クラブの目的は、スポーツの振興とする。

第2項 規約目的は、特にスポーツ活動の振興により青少年育成、融和と健康増進の実現化にある。

第3項 クラブは租税法“免税処置に関する目的”に従い、限定的、直接的な地域貢献に従事する。

第4項 クラブは、自己利益を追求しない、滅私の活動を旨とする。クラブの資金は、

規約の目的に従い運用する。

第5項 会員は、クラブの資金から寄付金として受け取ることはできない。経費(非会員においても同様)は、証明書の提出による場合に限り、支払われる。

第6項 不明な機関への支払いおよび常識外の報酬額としての経費は、一切受け付けない。

第7項 理事会役員は、経費と会議手当が保証されている。会議手当の金額については、クラブ会員総会で決定する。

第8項 役員全員、無償とする。

第9項 当該クラブは、政治と宗派に対し中立を保守する。

第3条 事業年度

営業年度は、暦年とする。

2) 会員事項

第4条 クラブ入会規定

第1項 クラブ会員は誰もが自然人であり法人となることができる。

第2項 入会手続きは、申込用紙をもって行う。入会申請者が未成年の場合は、保護者の同意署名を必要とする。

第3項 入会申請の許可は、理事会が決定する。

第4項 入会申請者には、入会が書面で通知される。

第5条 クラブ会員資格失効規定

第1項 会員資格は、退会、除名、死亡およびクラブ解散により失効する。

第2項 退会手続きは、6月30日および12月31日付で退会届出用紙にて提出する。

第3項 会員は、重大な理由がある場合、除名される。詳細は、名誉規程に定める。

第6条 会員の権利と義務

第1項 会員には、クラブ施設を使用する権利が与えられる。

第2項 成人会員は、申請により会員総会への出席ができる。成人会員は、選挙権と理事会への被選挙権を有す。

第3項 会員は、会費を支払う義務がある。

第4項 会員は、入会時に管理費を納める義務がある。

第5項 会費金額と支払期限は、会員総会で

決定される。

第6項 役員は、コース増設および特別な事情が起きた場合、それぞれ一度限り、または年度限りの追加料金を設定することができる。

第7項 役員は、明確な理由と例外的な事情がある会員に対し、会費の減額、支払猶予、または免除することができる。

第8項 会員義務第3項に示すとおり、支払い義務のある休会員が、督促状に対し応答しない場合の対応は、名誉規程に詳細に示す。

3) クラブの組織

第7条 クラブの組織

クラブに組織は：

会員総会 第9条

理事会 第10条、に記す構成で運用する。

第8条 会員総会

第1項 会員総会はクラブの最高機関である。

第2項 会員総会

a) 規約と青少年規則およびその改正を決定する。

規約改正は、会員総会に出席した有権会員の4分の3以上の多数決により、可決される。

b) 役員会員の選挙、

c) 会計報告と役員報酬認定の決定、

d) 第2条、第7項に示す、会費の金額と支払期限および会議費用金額の決定、

e) 土地と建物の取得と譲渡の法律行為を含む内容に関する決定、

f) 借入金の決定、

g) 役員に所属しない3名の会計監査員を選出する。

第3項 会員総会は、毎年営業年度四半期に一度開催される。

第4項 理事長は、会員総会の日時と場所を決定する。また、総会の議題を作成し、選挙権を有する会員に書面で通達する。

第5項 会則に召集されるすべての総会は、出席する有権会員の数に考慮することなく決定できる。

第6項 会員総会の議長は理事長が行う。理事長が出席できない事情が発生した場合

は、理事会の他の役員の総意で、代理の議長を決定することができる。

第7項 会員総会は、多数決の原則で実行する。同数の場合は、保留数と無効数はカウントせず、否決とする。

第8項 会員総会に懸ける議題がある場合は、理事長に書面により一週間前までに申請する。

第9項 緊急議題の場合は、総会の3/4以上の支持があれば、許可される。

第10項 理事長は、臨時会員総会を常に招集できる。この場合、最低でも10%の有権会員者数の同意を必要とし、書面にて申請する。臨時会員総会は書面で申請された日から遅くとも6週間以内に召集されなければならない。

第11項 会員総会の経過は、議長と書記の署名を添え、議事録にまとめる。

第9条 理事会

第1項 理事会は次の役員で構成される。

a) 理事長

b) スポーツ理事

c) 財務理事

d) 施設管理理事

e) 施設マネジメント理事

f) 青少年理事

第2項 会員総会で選出された理事の役職期間は二年間とする。理事は新理事が選出されるまでその職につくこととする。

第3項 青少年理事は、青少年総会で選出される。

第4項 理事は、会則に従い召集された1/2の会員数の出席で議決権を得る。

第5項 第8条、第7項並びに11項と同じ。

第6項 理事は、青少年規則を除き、決議する。

第7項 クラブは、民法典第26条の理念に基づき、理事会からそれぞれ2名の理事が出席することとする。その場合、少なくとも第9条、第1項のa)、c)、d)からの理事とする。

第8項 理事がその職務期間中、クラブを脱会した場合は、その役職は消滅する。

第9項 理事会員が役職を期間途中で終える

場合、補欠理事を推薦しその可決に加わることができる。補欠理事の役職期間は、次の会員総会までとする。

第10項 全理事は、その義務と役割を果たす為、常にWG 及び期限付きプロジェクトチームの支援と助言を求めることができる。

第11項 理事は、職務遂行の為、必要ならば理事会の役員の協力を得ることができる。この場合、指示に従うことになる。

第12項 スポーツ理事は、総合的なスポーツ事業の企画と運営の責任を負う。スポーツ理事は、各スポーツ種目のリーダーから5名を、スポーツ委員に指名し委員会を結成する。

4) クラブ青少年会員

第10条 クラブ青少年会員

第1項 26歳未満すべての会員は、青少年会員とする。

第2項 クラブ青少年会員は、クラブ規約を遵守し、自主的な管理の下に活動することを旨とする。

5) 補則

第11条 選挙方法

第1項 選挙は、非公開選挙の提案に対し多数の同意がない限り、公開することを原則とする。

第2項 多数得票を獲得した候補者が選出される。但し、候補者が複数で可否同数の場合、得票数が同数の候補者の決選投票を行う。決選投票においても決着しない場合は、抽選で決定する。

第12条 警告と懲罰規定

第1項 クラブ会員がクラブ規約または登録協会規約に違反し、または著しく名誉を傷付けるなどスポーツ精神に反する行為があったと認められる場合、会員は警告、または懲罰を受ける（詳細は、懲罰規定を参照）。

第13条 クラブの解散

第1項 クラブの解散は、総会で決定される。

第2項 クラブ解散申請は、文書により明確にその理由を説明し提出することを原則とし、その申請に対し理事会が同意しない限り、認めない。

第3項 クラブ解散は、会員総会で3/4以上の賛成多数がある場合、認められる。

総会を欠席する会員は、委任状を提出することを原則とする。

第4条 クラブ解散に伴い、未処理の業務がある場合、理事がその処理に当たる。

第5条 クラブ解散に伴い、法的効力は失効する。

税務清算処理後に残った全財産は、公共財産として最終的にレムシャイド市に返還される。

参考文献・資料

- (1) DTB : Deutsches Turnfest, Limpert Verlag GmbH, Wiesbaden, 1987.
- (2) DTB : DTB - Leitbuch 1984-1987, A.Bernecker Verlag.
- (3) E.Meinberg : つくばスポーツフォーラム , 基調講演, 2002.
- (4) 加藤元和 : カール・ディームの生涯と体育思想, 不昧堂出版, 1985.
- (5) 嶋田由紀 : 啓蒙都市ベルリンにおける精神と身体のプロポーズ, IPHIGENEIA・第4号 (2003), 日本体育大学大学院体育科学研究科, スポーツ文化・社会科学系, 稲垣正浩研究室, pp.6~7, 2003.
- (6) Bruno Sauerbier : Geschichte der Leibesübungen, Wilhelm Limpert-Verlag, 1976.
- (7) DSB : Sport gestaltet Zukunft, 2002.
- (8) DSB : Der Sport - ein Kulturgut unserer Zeit, 50 JAHRE DSB, 2000.
- (9) 吉中康子・今村悟訳 : ドイツ体操祭, ドイツ体操連盟編集, 晃洋書房, 2003.
- (10) 写真1 . Bergische Morgenpost
- (11) 写真3 . 5 . RAG
- (12) 写真2 . 3 . 4 . 6 . 7 . 8 . 9 . 10 . 15 . 16 . 17 . 18 . 筆者撮影
- (13) 写真11 . 12 . 13 . 14 . レムシャイド市提供
- (14) 表15 . 16 . 17 . 18 . 19 . 20 . 21 . 22 . RTV 提供
- (15) 図 1 . DTB Leitbuch 1984 - 1987
- (16) 図 2 . 3 . 4 . RTV 提供

